

## 平成 25 年度まちづくり座談会における質問と回答の要旨

■鷹山地区：8月26日（月）午後7時30分～9時 参加者数53人

Q. 災害を事前に防止することが大切である。御影沼の上に、以前から土砂災害危険区域として指定されている箇所がある。防止策として、砂防ダムを作るなどの対応をしてもらいたい。また、御影沼を改修するようだが、御影沼は老朽化し、ため池の機能を果たしていない。整備するなら、大沢の沼と大和沼をため池として整備したほうが得策ではないか。

A. 災害については、事前の予防が大切だが、完全に防ぐことは難しい。減災という観点から対応している。御影沼については、権利関係について整理する必要があり調査を中断しているが、整理されれば、県において調査、設計を再開する。別の沼の整備というご提案をいただいたが、御影沼の改修については、地域のみなさんで議論いただき決まったものであり、まずは、御影沼の改修に努めてまいりたい。

A. 御影沼については、構造上の問題があり、萩野川に水が抜けるような改修も併せてお願いしている。砂防ダムについては、地区役員で検討しながら対応したい。

A. 沼については、地域でまとめたものを町で検討している。砂防ダムについても、まずは地域の中で検討していただきたい。

Q. 蔦沢川について、土砂が堆積している箇所があり、また雨が降ったら危険な状態。浚渫(※)などの対応をしてもらいたい。また、ところどころ、土台が見えている箇所がある。埋めるような対応しないと、護岸が崩れてしまう。

(※) 浚渫・・・川底を掘ること。

A. 蔦沢川については、土砂の堆積に対しての浚渫の要望がある一方、洗掘を受け土台が見えている箇所がある。再度、現場を確認し、必要な措置をしたい。

Q. 国道348号の地蔵様のところにトイレがない。トイレがないため、周りの山で用を足すようであり、うっかり山に行けない。トイレをつくっていただきたい。

A. まずは、地元の方々、町民の方々の意見の集約と、使用頻度などの調査をする。そのうえで、管理者である県へ要望するなりの判断をしたい。

Q. 紅花について、町で一反歩10万円の補助を出して栽培させているようだが、経済効果はあったのか。摘まずに放置しているものは見栄えが悪く、それを見に観光客も来ないのでは。また、観光客に摘ませているため、品質が落ちているという話も聞くがどうなのか。

A. 観光客からの要望に応えるため、国道沿いや長井線沿いなどの目立つ場所の畑に栽培を

お願いし、一反歩につき10万円補助している。昨年度、白鷹産の紅もちが県内生産量の70%を占め、品質については大変良いという評価をいただいている。乱花(※)の価格が下がっており、紅もち(※)にするのが最も収益が出るため、町でも、紅もちの生産を勧めている。

.....(※) 乱花・・・紅花の花びらを乾燥させたもの

.....(※) 紅もち・・・紅花の花びらを乾燥させたもの

Q. 被害箇所については、査定後に復旧とのことだが、復旧はいつ頃から始まるのか。また、優先順位はあるのか。針生水本線が崩れ、通行止めとなっている。未舗装の道路で、水害により側溝がなくなり水が流れるため、地元で排水の対応をしている。上流に大型のU字構とグレーチング(※)を入れて水を流せるようにと考えているが、資材の補助などいただけるのか。

.....(※) グレーチング・・・網目状になった側溝の蓋。

A. 今後の予定は、国において10月上旬に現地査定を行い、国が緊急度を定める。大きな被害箇所については、査定を待たずに、国と協議し必要性が認められれば着工できるが、針生水本線については査定を待ってからの原型復旧となる。側溝整備も併せてとのことだが、あくまで原型復旧が基本であるため、場合によっては町単独の対応も必要と考えられる。まずは、現地を確認したい。

Q. 中山の田尻地内に、農業用水を供給している用水とポンプがあり、管理を任されているが、そこまで行く道路が土砂で埋まっている。用水の状態の確認をしたいが、道路を直してもらわないと確認できない。いつごろ対応するのか。

A. 早急に現場確認をする。地元の方と連絡をとり確認し、対応を検討する。

Q. 今回の災害時だけでなく、毎年のように床下浸水が起こる家がある。中山針生線にカルバート(※)があるが、雨が40ミリくらい降ると溢れてしまう。もう1ヶ所、カルバートの設置をお願いしたい。

.....(※) カルバート・・・暗渠。地下に埋設された導水路、または蓋をした導水路のこと。

A. 早急に現場確認し、対応を検討する。

Q. 今後の町長の方針、夢などをお聞きしたい。

A. これからの町づくりの重点事項として、まずは、荒砥橋の改築を進めたい。設計はすでに終わっており、1日も早く改修したいと考えている。当町におけるインフラ整備は、まだまだ足りないと認識している。西側の長井までの道路、川下方面の道路などについても整備改修などを行いたい。

また、これからは、森林の活用を真剣に考えなければならない。今回の災害の山腹崩壊については、杉が長期間放置されたことが要因の一つのようである。燃料として、公共建築物の資材として、白鷹産の木材をできるだけ活用できるような方策を考えたい。

今後も、引き続き安心できる町づくりを進めていくが、災害はいつどこで起こってもおかしくない状況。自分の身は自分で守るような準備をお願いしたい。

**Q. 事業を始めようとする時、各課を回らなければならない。災害時もたらいまわしになった。庁舎再配置の前に、各課が連携し、相談しやすい環境整備をお願いしたい。**

A. 申し訳ない。事業については、一元化した対応をすべく努力している。どこの部署になるかわからないものについては一旦、総務課企画室で受け、関連部署と連携し対応する。

**Q. 災害の支援事業について、早急な対応をとっていただき感謝する。支援事業の中で、コンクリートの二次製品まで購入して良いのか。**

A. コンクリートの二次製品でも原材料ということであれば良いが、まずはどういうものが必要かご相談いただきたい。

**Q. 蒔沢川の上流がひどい状態だが、作付している農地もあるため、早急に水をまわして稲刈り出来る状態にしてもらいたい。**

A. 蒔沢川上流の復旧については、現在、国の査定を受けるべく準備中であり、査定は9月中旬以降の予定。査定の状況を見て対応したい。田に水をまわすことについては、早急に現場を確認し対応を検討したい。

**Q. 中山地区はスキー場が避難場所だが、中山小学校にまだ避難場所の看板が設置されている。町の対応は。**

A. 中山地区は中山小学校を避難場所としていた。避難所については、現実的な視点から検証し、区長と相談しながら整理をしていく。

**Q. 滝野の避難所は滝野交流館となっているが、交流館は避難できる状態ではなかったため、鷹山地区公民館に避難した。避難所の再検討をお願いしたい。**

A. どこで災害が起こるかわからない状況であり、避難所として指定しても使えないこともある。まずは、一次避難所に避難し、危険であれば二次、三次の避難所へ移るといった対応も必要となる。検証し、対応していく。

**Q. 町管理となる荒砥川の支流の対応はどうなるのか。**

A. 国の災害査定基準では、ブロックなどで護岸になっている箇所は査定を受けられるが、土の部分は対象外となり、町での対応しかない。町全体でかなりの被害箇所があり、できる限り対応したいが、危険度の優先順位をつけて対応していくこととなる。

**Q. 避難勧告、指示で避難した際の避難者の対応は誰がするのか。**

A. 避難について、初動対応は地域で対応いただきたい。避難所については、今年度から地区担当職員を配置しており、その職員が対応することとなる。今回の鷹山地区公民館については、職員数名で対応した。今後、区長と意見交換し、より安全な避難所運営を考えていく。

**Q. 防災無線は各地域に準備されているが、防災放送は考えていないのか。**

A. 現在、J-アラートの伝達システムを構築している。このシステムにより各地区公民館、学校、保育所、病院へJ-アラートの緊急情報を即時に伝達できるようになり、併せて屋外拡声器と既存のスピーカーを利用し、周囲への伝達もできるよう整備する。また、施設間の相互通信も可能となる。今後は、そこから地域の方々に情報が伝わるようにしたい。また、トランシーバー、ホームページ、エリアメールも使いながら対応する。しかし、最も確実な安否確認方法は、地域の方々の対応である。システム機器だけでなく、人的なつながりを活用し対応していく必要がある。今後、自主防災組織連絡協議会において検証し、地域にあった整備をしていく。